

英文読解の基礎講座 第1講

①品詞の種類について

【1】名詞

人やモノの名称を表す語を（ ）という。

(例) 机 (table) 大阪 (Osaka) 3人 (three) 私 (I) こと (thing) など

・「私」や「これ」のような名詞を（ ）といいます。

・名詞は英語では「noun (ナウン)」といい、「n」と表すこともある。

【2】形容詞

物事の性質・状態を表す語を（ ）という。

(例) 大きい (big) 幸せな (happy) 豊かだ (rich) など

・基本的に「大きい」とか「美しい」とか「～い」で終わるモノが多いが、日本語では形容動詞とされている「豊かだ」「幸せな」など「～だ・～な」で終わるモノも英語では形容詞として扱う。

・形容詞は英語では「adjective (アジェクティブ)」といい、「a」と表すこともある。

【3】副詞

名詞以外を詳しく説明する語を（ ）という。

→働き方の項目でも説明するけど、この「詳しく説明する」ということを「修飾する」といいます！

(例) ゆっくり (slowly) 時々 (sometimes) それゆえに (thus) など

・副詞は英語では「adverb (アドヴァーヴ)」といい、「ad」と表すこともある。

【4】動詞

物事のどうする・どうなる・ある・いるを表す語を（ ）という。

(例) 走る (run) 読む (read) いる・ある (be動詞: is/am/are/was/were/been) など

・英語では、動詞は「verb (ヴァーヴ)」といい、「V」と表す。(これは覚えて！！)

・動詞には、（ ）と（ ）という2種類がある。

(←詳しく、またやります！)

②品詞の働き方

【1】名詞の働き方5パターン

名詞はあらゆるところで「仕事」をしています。なので、1文中のほとんどの単語・かたまりが名詞として働いています。

→名詞を理解して、見つけることができないと英語は全くわからないということに...(><)

名詞の働きをまずは覚える！！

① () ！

・S：主語 O：目的語（「～を、～に」を表す） C：補語（＝を表す）

（例題）次の文の各語の品詞を答えよう。

This is a pen. 「これはペンだ」

「This」は「これ」という意味で、代名詞ですね。だから、主語の働きをしている。

「is」は動詞で、「a pen」は名詞で、目的語か補語のどちらになるか、ですが、

「This」＝「a pen」が言えるので、補語であるCの働きになる。

② () ！

・まず前置詞とは、「in」とか「at」とか「to」とかのやつらのことで、「～に」とか「～へ」とか「～で」とか単語と単語のつなぎ目的な働きをする！

・前置詞で覚えとかなアカンのは、() ということ！

（例）I swim in a pool. 「私はプールで泳ぐ」

「I」は代名詞で主語になり、「swim」は動詞、「in a pool」が前置詞「in」と名詞「a pool」がセットの形になる。

→この「a pool」が前置詞の目的語です！

まずはこの①と②の働きを覚える！

名詞のほとんどがこのどちらかのタイプ！

③ ()

（例）My teacher, Aban, is ... 「私の先生であるアバンは、...」

という風に、同格は要するに「＝」を作ること！

形は、「A = A」 → 「A=A'」

訳は、「AつまりA'」「AであるA'」「A'であるA」

「～大学の教授である〇〇は...」みたいな書き出しの英文はよく見ます。

④ () （例）study desk 「勉強机」

・「study [勉強]」という名詞が「形容詞っぽく」後ろの「desk」を詳しく説明している。

・セットで1つの単語、と考えるのがポイント！

⑤ ()

(例1) I arrived this morning. 「今朝、着いた」

(例2) three meters away 「3m離れて」

(例3) ...is three years older than she. 「...は彼女より3歳年上だ」

こういった具合に、①のように「時」「距離」を表す名詞が、副詞っぽく動詞「arrived」を詳しく説明したり、②や③のように「程度や差、距離」を表す名詞が、副詞っぽく副詞「away」や形容詞「older」を詳しく説明している。

【2】形容詞の働き2パターン

① () !

(例) a white car

「white [白い]」という形容詞は、「car [車]」という名詞を味付け、つまり修飾している。

② () !

(例) I am happy.

品詞は「I」が名詞で主語になっていて、「am」は動詞、そして「happy」が形容詞です。

このとき、「I」=「happy」という関係性になってます。

これが、C [補語] の働き！

・重要なのは、このCになるかどうかは、() ということ！

【3】副詞の働き

() !

・「全て」というのがポイントで、「動詞」「形容詞」「副詞」「前置詞＋名詞」「文全体」となんでも味付けできるのが副詞の特徴。

・文のどこに置いてもいい。ただ、基本は説明したいやつの前に置く。

・副詞を見つけたら、() !

→難解に見える英文も一気に読みやすくなります。

・名詞を修飾したら、() それ以外なら、() ということ！

(例) I often drink very cold cola. 「私はとても冷えたコーラをよく飲む」

「I」は名詞でS [主語]、「drink」は動詞でV、「cold」は形容詞で名詞「cola」を修飾。残った「often」と「very」が副詞。「often」は「しばしば」とか「よく」という意味で、動詞「drink」を修飾して、「very」は形容詞「cold」を修飾して、「とても冷えた」となる。

【4】動詞の働き

- ・ () : 気持ちが () に向いている
() : 気持ちが () に向いている

(例) I am happy.

この文の動詞は「am」ですが、気持ちはどこに向いてる？

→「私はハッピーだ」ということなので、気持ちは「自分」に向いてますね。

↓

「am」は () ということ！

(例) I read a book.

この文の動詞は、「read」で「読む」となり、「何を読むのん？」と気持ちが「他」に向く。

→「read」は () ということ！

↓

他動詞の場合、必ず「何を？誰に？」を表す () が必要となってくる！

慣れない間は、「何を？」ってなったら他動詞！って見分けてもほぼ大丈夫！

③確認テスト

(1)名詞の働きを、2つ答えよう。 () ・ ()

(2)(1)以外の例外的な働きを3つ答えよう。

() () ()

(3)形容詞の働きを2つ答えよう。 () ()

(4)副詞の働きを答えよう。 ()

(5)自動詞と他動詞の違いは？ ()

(自動詞) : 気持ちが () に向いている

(他動詞) : 気持ちが () に向いている